

気になるフィオーレ喜連川人 Vol. 19

地域密着!

～地域とそこに住む人と
どう関わり、どう生きるか



23丁目
三宅 祝雄

今回の特集でも取り上げた「スマイルアッシーの会」。立ち上げから関わり、現在も代表として活動されている三宅さん。公の場での鋭い発言が印象深い。定年を機に千葉より移ると、その後すぐ民生委員として活躍する。フィオーレ20数年の歴史において、選挙によって自治会役員を決めた時代があった。民生委員としての活躍もあつてなにか当選し、自治会長と区長を務めることとなる。「当時自治会は崩壊寸前で、そんな中みんなの意見をいかに吸い上げられる仕組みを作れるかが重要だった。そういう意味で各班の意見を聞いてくる班長はキーマンだった。」しかし、現実には班長の役が回つてきそつになると自治会を抜けてしまつ人もいる。現在もそれは自治会の課題として強く残る。「なんというか：悲しいよね。自分の生活ばかりでなく、地域の人とどう関わっていかは大切なこと。都会では自分の身の回りだけで完結するけど、田舎においてはみんなが助け合つていくことが基本

の考え方だと思つた。」区長になつて初めてそれを強く認識した。町役場に出向けば職員に顔は知られており、「区長が来た」と皆ピリツとする。そして「会いたい。」と言えばアポがなくても町長に通してもらえる。それだけ区長に対する期待は大きい。「(田舎は)都会に比べどうしても充分な行政サービスがでない。だから行政も自治会に頼る。補助金を出してそれぞれの自治会で必要なことに使つてもう一つ。ここでの自治会とはそういうものだと思つてほしい」と思つた。郷に入りては郷に従え。移住者の多いフィオーレでは、地域の実態をよく理解し、その地域に寄り添つた暮らしをすべきと主張する。東日本大震災以来、地域コミュニティの重要性が再び注目を浴びた。一見煩わしく感じられがちだが三宅さんには新鮮に映つた。「移住して来てびっくりしたのは、まちの人皆親切でね、都会だったら顔見知りでもめつたに話しかければ必ず話しかけてくれ

る。役場でも確かに事務処理は遅くて時間かかるけど、対応自体はすごく丁寧で良くしてくれる。」この地域ならではの良い面も悪い面も総合的に判断しないと、ないものはないし、過度の期待は不満の元になる。「なければ自分たちで何とかすればいい。」その考え方がスマイルアッシーの立ち上げにもつながつた。そんな三宅さんが常に心がけているのは人との「和」。趣味であるゴルフもハイモニカも下手でね、皆さんと仲良くなるための手段だと思つているから下手でいいやなんて言い訳している。だから、「あいつはたいしたことないよ、って皆さん親近感持つてくれるんじゃないかな(笑)」趣味ひとつとつても、のめりこみ自分の世界に入り込むのではなく、みんなと一緒に楽しみや課題を共有する。そこには前述したような鋭い姿ではなく、地域とそこに住まう人とともに歩む三宅さんの姿があつた。

記事：大河原千晶

車社会を共に生きる。スマイルアッシーの会

フィオーレのような地方での生活は、多くの局面で車に依存します。一方で、公共交通サービスが充実しているとは言えず、長らく高齢者や車が運転できない人にとっての不安の種となっていました。

そんな中その解決の一助となるべく、ボランティアが実費と定額の謝礼金だけで送迎を行う「スマイル・アッシーの会」が、平成19年に発足。約8年間の活動の中で600件以上もの送迎を行ってきました。



教えてスマイルアッシー

Q どうやって利用するの?
A 通常は入会申込書による入会手続きが必要ですが、初回はお試し利用ということでお電話のみでOK。原則5日前までにご連絡いただくと、こちらから担当ドライバーをお伝えして予約完了。5日前以後のご連絡の場合は、ドライバーの予定に応じてご利用の可否をお答えします!



Q 利用できる時間帯は?
A 原則AM7:30～PM4:00まで。それ以外の時間帯でも、ドライバーと相談の上都合がつけば送迎可能です!



Q 料金は?
A 燃料費として1kmあたり20円。謝礼金としてドライバーの活動時間(送迎車の自宅から帰宅まで)30分につき、200円。その他有料道路料金など実費がかかります。



利用例：黒須病院までのご利用

走行距離往復：23.6km(1km未満切り捨て)→23km×20円=460円

活動時間：1時間20分(待ち時間40分含む。30分未満切り捨て)→(60分÷30分)×200円=400円

460円+400円=860円 計860円

Q 長時間お待たせする時は?
A 行きと帰り、別々のドライバーが送迎可能です。それぞれの往復料金が必要ですが、待ち時間の謝礼金がかからないので、結果的に低額ですむ場合もあります。

Q 利用できるのは高齢者だけ?
A 高齢者補助のサービスとして発足いたしましたが、地域福祉の範囲内であれば柔軟に対応したいと考えています。また、ニーズが高まれば会則自体の変更の可能性もあります。まずはご相談ください!

Q 万一の場合の保険は?
A 自治会の補助金により、「送迎サービス補償」及び「ボランティア活動保険」に加入しています。

Q ボランティアは月に何回協力できれば参加できる?
A 特に決まりはありません。特定の曜日や時間帯限定でも大歓迎です!

お気軽にお問い合わせください!

代表 三宅 祝雄
連絡先 028-686-5441

